

開
幕
式
や
せ
!!

2022年11月末～12月末の
硬式体験日(予定)

11月26日(土)	泉第一球場
27日(日)	洞爺湖町入江260
12月 3日(土)	
4日(日)	
10日(土)	KAZUYUKI DOME (室内練習場)
11日(日)	洞爺湖温泉91-29-2
17日(土)	
18日(日)	

上記日程以降も体験できますので
ご連絡ください

※雨天時の場所変更もございますので、必ず事前の
ご連絡をお願いいたします。

9:00～15:00 途中参加可
※昼食持参 防寒着もお忘れなく

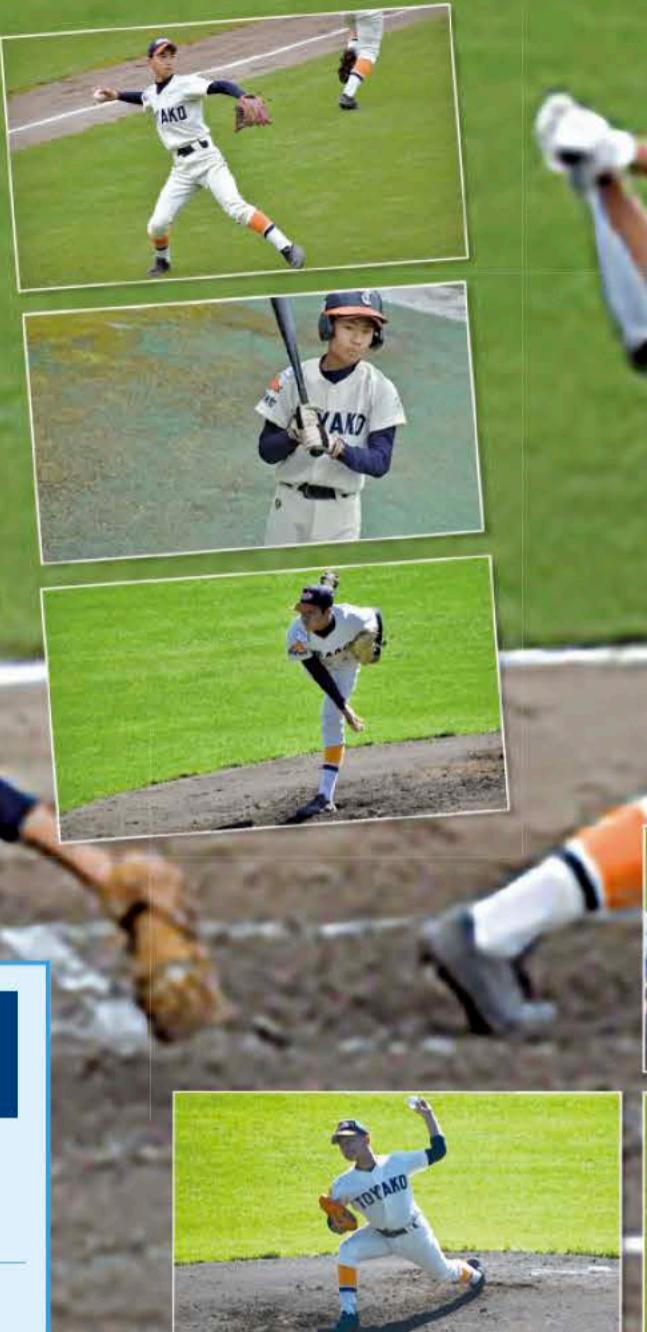
雨天の場合
KAZUYUKI DOME (室内練習場)
洞爺湖温泉91-29-2

洞爺湖リトルシニア
新入団員募集!!

チームスローガン

闘志無き者は
グラウンドから去れ

お問い合わせ
090-2871-6516



Toyako

新
入
団
員
募
集
中
!!

硬式体験実施中!!

洞爺湖リトルシニアの若松敦治監督に、練習
体制や選手たちの様子などを聞きました。

若松監督

Q & A

Q 練習以外のフォローアップ

Q 練習場所や頻度を教えて
ください。

A 「洞爺湖をはじめ、伊達、室蘭、白老、札幌に練習場所を置いています。虻田は毎日、他は週1、2回設けています。蘭越でもできるように整備を進めている状況です。選手たちができるだけ居住地に近い場所で練習できるようにしています。指導者も順番に配置。保護者の方も仕事の都合があると思いますのでできるだけ負担がかからないようになります。時間は午後5時半で、途中から参加しても問題ありません」

Q 最後に選手たちに身に付けてほしいことを教えて
ください。

A 「野球を通して『掃除がきくことができる』『道具を大切にすること』『グラウンド整備がきちんとできる』『あいさつをしっかりとする』といった相手の気持ちも大切な部分をまずは学んでほしい。試合に出でいない選手の気持ちを考えて試合で頑張る」というたった人として大切な部分をまことに。試合に出でない選手の気持ちを考えて試合で頑張る」というたった相手の気持ちも考えられるようになつてしまい。甲子園やプロを目指している子もいる。野球が大好きで『頑張つてみよう』と思つている子もいる。私たちを一生懸命育てます」



日本リトルシニア中学硬式野球協会 北海道連盟
洞爺湖リトルシニア

監督 若松 敦治

出身地 埼玉県さいたま市大宮区
歴史 大宮東高等学校(甲子園出場)、東北福祉大学(大学選手権準優勝)、大昭和製紙北海道、ヴィガシラオイ、サンワード貿易(日本選手権・大阪ドーム・都市対抗・東京ドーム出場)、WEEDシラオイ、KOSEIKAI B.C.、伊達聖ヶ丘病院
監督・コーチ歴 洞爺湖リトルシニア球団、KOSEIKAI B.C.、伊達聖ヶ丘病院

全国大会結果「JA共済トーナメント 日本リトルシニア第13回林和男旗杯野球大会」(7月・長野県松本市)

- 1回戦 ▶ 洞爺湖 10-3 松本東[信越] ※5回コールドゲーム
- 2回戦 ▶ 洞爺湖 6-1 千葉市[関東]
- 3回戦 ▶ 洞爺湖 5-8 横浜泉[関東]

ホームページもぜひご覧ください <https://www.netto.jp/toyako/>

お問い合わせ ヘッドコーチ・神取(かみとり) 090-2871-6516

2年連続、全国大会を目指す!

中学生硬式野球チーム・洞爺湖リトルシニア(若松敦治監督)は、1、2年生でつくる新チームが始動した。7月に長野県で開かれた全国大会でベスト16入りを果たし、2年連続での全国大会出場を目指して日々練習に励んでいる。新入団員を広く募集。体験日を設定しており、参加を呼び掛けている。

チームワークが売りの新チーム。加藤主将(室蘭市港北中2年)を中心とした団結力で全国への切符獲得を目指している。佐竹徳都選手(伊達市光陵

中2年)は「左ピッチャーでは道内でも1、2を争う」(若松監督)と評価が高く、エースナンバーを背負い、捕手もこなす清光琉惺選手(洞爺湖町虹田中2年)と二枚看板が軸。両打で打撃のパンチ力が持ち味の馬場羽琉空選手(伊達市伊達中2年)とクリーンナップを形成する。

右投げ右打ちでベースランニングが速い増山遼久選手(登別市鷺別中2年)はバッティング技術も向上。スライダーのコントロールが抜群の湊航真選手(八雲町野田生中2年)は「どんな場面でも変化球

でストライクが取れる」(若松監督)と急成長している。内野はどのポジションでも守れる木村翔選手(八雲町八雲中2年)も守備を支える。1年生もレベルが高いといい、「春の全国大会も十分に期待できる」と若松監督は自信を見せる。

バッティング練習では木製バットを使用。若松監督は春と夏の大会で打撃に課題があった。金属に比べて木製は芯が狭いのでしっかりボールを捉えないと折れてしまう。バットも重たく、グリップも滑りやすいので握力の強化にも

振りやすいので握力の強化にも

加藤主将は「僕たちは飛び抜けた力のあるチームではありませんが、団結力なら負けません。チームメートへの思いやりと感謝の気持ちを忘れずに、全力プレーで2年連続の全国大会を目指します」と意気込んでいる。

つながる」と意図を説明する。徐々に成果は見え始めており、来春に向けて徹底する。礼節の指導にも力を入れる。グラウンド整備や部室の清掃、あいさつなど、加藤主将は中心に一声で集まって行っている。練習でも元気いっぱいの声を出して取り組む。「何でストライクが取れる」(若松監督)と急成長している。内野はどのポジションでも守れる木村翔選手(八雲町八雲中2年)も守備を支える。

加藤主将は「僕たちは飛び抜けた力のあるチームではありませんが、団結力なら負けません。チームメートへの思いやりと感謝の気持ちを忘れずに、全力プレーで2年連続の全国大会を目指します」と意気込んでいる。